

磐梯町 農業委員会だより

第 20 号 令和 5 年 1 月発行



発行：磐梯町農業委員会

耶麻郡磐梯町大字磐梯字中ノ橋 1855

編集：農業委員会だより編集委員



◀ 農園内の様子 光元組合長と農業委員

「儲かる農業・
継続できる事業体を
目指して」
農事組合法人

世羅幸水農園

梨栽培のパイオニアから、約六十年続く大規模農園経営のノウハウを学ぶ



視察研修(広島県)

新年あけましておめでとうございます。
健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より農業委員会に対して、格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、磐越西線の橋崩落や土砂崩れなど、東北や北陸での記録的大雨により県内にも甚大な被害をもたらしました。一刻も早い被災地の復旧をお祈りします。



農業委員長

加藤 健一〈赤枝〉

また、新型コロナウイルスやロシアのウクライナ侵攻に関する原油価格の高騰から始まった、燃料・資材・肥料等の価格上昇で農業経営に深刻な影響を及ぼし、今なお円安や物価高が続いた一年でありました。

今年四月から相続土地国庫帰属制度が始まります。所有者不明な土地の発生防止が主たる目的ですが、相続した土地を手離したり、遺贈した土地を手放し国庫に帰属させることが出来ます。基本的には既存の国有地と同様に入札を通じて農業者に払い下げることになります。また、改正農山漁村活性化法が施行され、活性化計画の対象事業に放牧や鳥獣緩衝帯景観作物など省力的・簡易的な土地の利用や管理、計画的な林地化を行う農用地保全事業が追加され、実施する場合は地域の話し合いに基づいた活性化計画が必要となります。

委員会活動につきましては、農地法に基づく農地の権利移動・転用等の許可審査を行い、加えて農地パトロールを実施して、荒廃農地拡大の防止に取り組んでまいりました。少子高齢化による担い手不足、耕作放棄地増加、TPP による価格競争等々日本農業を取り巻いている多くの問題と課題はありますが、解決策はスマート農業の導入・農地や経営を大規模化する・集落営農へ取り組む・農作物のブランド化・6次化産業等ありますが、それには日本全体でもっと農業に目を向ける必要があります、循環型農業・持続可能な農業を目指していきましょう。

結びに、この一年が皆様にとって実り多き年となりますよう、併せてご家族皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。

【目次】各委員挨拶…1～4	福島県下農業委員会大会…2	広域電気柵の効果、視察研修…3
農地パトロール…4	意見書提出、肥料・飼料高騰対策助成金、農地中間管理機構…5	
農地売買・転用、電気柵補助…6	人・農地プラン、各種案内…7	若手農家紹介…8

◇各委員挨拶

東部地区担当委員

農業委員 十二名
最適化推進委員 五名

女性農業委員として活動して



農業委員 金田 未樹（法正尻）

農業委員として活動させて頂いて五年が経ちます。農作業や地域のこと、家庭のことなど日々せわしく忙しい中ではありますが、定例会や研修などを通してなんとか少しずつ勉強しながら活動しております。しかし、私自身、他のことを両立しながら十分に活動できているという実感が無いというのが正直な気持ちです。

全国には、年代を問わず女性ならではのコミュニケーション力や丁寧で細やかな対応をしながら、子育ての経験などを生かして活躍されている農業委員の方もいらっしゃると思います。そういった事例を参考にしながら、型にはまらず、できることをやりながら、気軽に声をかけて頂けるような雰囲気を作っていけたらと思います。また、夫婦間のもとより、家族経営や法人経営や地域のなかで、風通しのいい環境を作ることに女性の力を発揮できるのではないかと考えています。

現在は、女性農業委員は私一人ですが、もっと増えていくきっかけを少しでもつくれたらと思います。

福島県下農業委員会大会に参加して



農業委員 佐藤 栄祐
〈更科団地〉

農業委員会県下大会に昨年初めて参加いたしました。が改めて農業委員会の活動の意欲を抱かせていただきました。

大会内容は、農業委員会の各地区の活動に関する優良団体・個人の表彰式があり、次年度は磐梯町農業委員会が表彰されるよう頑張りたいと思いました。記念講演の演題は「新しい農業・農村振興の形と農業委員会に期待すること」がテーマで、弘前大学の平井教授の活動内容や、農業の今後の課題と将来的農業のあり方も含め講演がされ、大変わかりやすい講演でありましたが、今後の県をはじめ磐梯町の農業について考えると大変な思いで講演を聞き入りました。

農地の減少・耕作放棄地の増加、その背景には日本国内の人口の減少による生産者の減少があります。この講演で地域資源であるべき農業が負の遺産とならないように地域一体となり農業と向き合いながら、農業を使い観光業や飲食業も盛り上げ業種を越えて地域づくりをして行きたい気持ちにさせられました。

農業を取り巻く環境は地球温暖化や気象災害により食糧確保が困難とされており、スマート農業の可能性やみどりの食糧システム戦略の必要性が将来的に重要と国は考えております。地域の農業委員会の

活動がさらに求められることとなります。地域での話し合いを農業委員自ら仕掛け、早めに地域農業の在り方や、担い手の育成確保をし、町民の皆さんと共に磐梯町の農業を守ればと思います。



農業委員 鈴木 勇一（源橋）

新年あけましておめでとうございます。

農業においては担い手不足の中、物価高騰や農産物価格の低迷など、農業経営は依然として厳しく、今後も離農者は増加するものと感じています。このような問題に対しては、人・農地プランによる担い手対策・省力化と、農業者の安全確保に向けたスマート農業の導入、集落が協力しながら行う鳥獣対策などを考えていかなければと思っています。

今後も地域農業の活性化に努めたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



農業委員 遠藤 充孝（布藤）

新年あけまして、おめでとうございます。

昨年も有害鳥獣、特にイノシシによる農業経営被害が深刻になっており、農業委員会においても町とともに被害防止に努めて参ります。

また、会津においてもコロナ感染が拡大しており、一日も早い収束を願うばかりです。

本年も遊休農地の解消に向けて微力ながら努めてまいりますので、よろしくお願い致します。



農地利用最適化推進委員

卯月 宏次〈横達〉

新年あけましておめでとうございます

ロシアのウクライナ侵攻から、始まるエネルギー、肥料、飼料、ありとあらゆる物までの物価高騰が続く農業経営への影響が、当地区でも散見出来る状況で有ります。

今後の農業の在り方や大規模化・コストの軽減、収益の上がる農作物への転換等様々な問題が山積している中、次世代へのバトンタッチを行える環境作りを進めて行く為に、町内農業従事者の話し合いが必要ではないかと思えます。

鳥獣被害対策広域電気柵設置の継続効果



農地利用最適化推進委員

鈴木 一功〈源橋〉

今年もよろしくお願いいたします。

【農作物の鳥獣被害防止対策事業】として、電気柵対策が二年目となりました。源橋地区では、前年よりも被害が多く発生したため力メウを設置し確認をしたところ、電気柵だけでは対応しきれない様子だったため、地区の農山村保存会で、花火やクラクションを鳴らすなど、夕刻時に巡回もしました。来年度も引き続き鳥獣被害の対策を行っていきまので、皆様のご協力をお願いいたします。

中部地区担当委員

視察研修（広島県）（世羅幸水農園）



農業委員

川井 信之〈大寺二区〉

昨年十一月十八日、

農業委員会視察研修で広島県の世羅幸水農園に行ってきました。世

羅幸水農園は、昭和三十七年県営開拓パイロット事業として発足し、昭和三十八年に農家二十七戸により農事組合



▲光元（みつもと）組合長の説明を受ける農業委員

法人を設立したそうです。東京ドーム十三個分の広大な面積に、梨栽培を基軸にイチゴ、ブドウ等、四十品種も栽培しています。

幸水農園は、協業家族経営の集団であり、一人一役に労働は平等が基本です。総務部、労働部、労働部、施設部、第一生産部、第二生産部、販売部の七つの業務組織に分かれており、中国・ベトナムの外国人技能実習生も十六名働いています。

儲かる農業・継続できる事業体を目指しており、対話をもって協調し、知恵を出し合う事を意識して経営をしているそうです。光元組合長は説明の中で、安心・安全な果物商品を通じ世羅幸水農園のファン作りに努めていくとおっしゃっていました。当町にこの手の農業法人作りは難しいと思いますが、今回の視察研修は大変有意義なものになりました。



農業委員 上野 庄市〈本寺〉

新年あけましておめでとうございます。

昨年、自然災害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、当本寺地区に置きまして、広域電気柵設置事業が三年目を迎えます。昨年の経過を報告したいと思います。電気柵初年度の距離が三千七百三十七メートル、昨年に七百メートル延長され、総距離四千四百三十七メートルとなり、妙法原地区まで張ることが出来ました。

被害状況としまして、残念ながら地区内はじめ寺西地区・湯殿地区から被害の報告が出ています。山際対策は電気柵を張り詰めましたが、課題として馬場地区及び大谷川河川敷からの侵入が予想されます。

今後も、行政の専門家の指導を受けながら対処していきたいと思しますのでご教示ご指導宜しくお願いします。



農業委員

前田 諭志〈大寺一区〉

私の役割の一つに「」を用いた鳥獣害対策がありますが、現在は各地域で電柵の設置が進み効果が出ているようで、さらにそこに「」を掛け合わせることで監視の効率を上げられるのではないかと考えています。

赤外線カメラによって「動物の種類」「場所」「頻度」などが見えてきましたが、継続して地元の「NO

法人おーでらさんやスロウさんと議論しながら今はさらに広域でデータを集めていきたいと考えています。

分らないことばかりからスタートした農業委員の仕事にも少しずつ慣れてきました。それでもまだ分からないことは多々ありますが、町の農業振興のために精進していききたいと思います。



農地利用最適化推進委員

鈴木 照喜〈本寺〉

昨年もコロナウイルスの影響により、先の見えない年でしたが、本寺地区では有害鳥獣の電気柵の延長をしました。しかし地形的な事もあり、まだまだ対応に追われることでしょう。

また、多くの遊休農地と有害鳥獣の駆除や高齢化が進む中、これからの農業方針には、人・農地プランの作成が欠かせないものとなります。

皆で一丸となり、頑張っていきたいと思います。本年もよろしく願います。

西部地区担当委員



農業委員 会長職務代理者

田中 重博〈入倉〉

新年明けましておめでとうございます。

近年、農業を取り巻く環境は悪化する一方で、農業者にとって先のない状況になっています。

当町管内における農地パトロール調査結果でも、農地の不耕作や山林原野化が進行しています。

中山間地帯である当町において、今後次世代に継続できる農業にするため、「経費の軽減」「作業の省力化」等、環境の改善が不可欠です。

農業者個人の取組みと並行して、町・関係組織・団体が一丸となって支援具体策を検討し、一步一步進めるのは「今」でしょ！



農業委員 田中 茂〈入倉〉

多くの農業委員との毎月の農地に関する財産保持や、農地集積による規模拡大農家の応援、荒廃農地の保全の活動、一方農家を離農する農家、様々な相談・環境の中での経営を余儀なくされ、目の当たりにする時代の変革に、小生も戸惑いを感じながら委員として活動してきております。

昔は、両親の農業の取組みを見て、家族生活ができ、私たちが育ってきたのですが、今は生産意欲と農業意識を感じない農家が多くなってきているのではないのでしょうか。後を継ぐ子供達が農業を生活の糧に考えられない現在、昔は「国民の食糧を生産し日本を守る」という意識があり、誇りにさえ思えましたが、現代社会における農業の役割と今の農業における生活環境の変化に疑問を感じて来ております。私は多くの外国の農業を見てまいりましたが、磐梯町一園を一人の農家が経営するアメリカやカナダ、日本との農業規模のちがいを感じております。我が家は約八ヘクタール、昔は専業で経営ができたのに、今では兼業農家で地域の農業保全担当と思えるような、儲かることの少ない趣味の農業のように思えて

おります。

しかしながら、現実を考えているうちにあつという間に一年が過ぎ、仲間は年金がやっともらえるようになったのに、六十五歳前になくなり、これからの家族とともに農業人生をエンジョイする時期なのにと悔しさに思いとられます。

果たしてこのような農業でいいのだろうか。本当の農家はこんなことであってはならない。農業委員として地域の活動を応援したり活動したり多くの方と関わるように、今後はさらに意識し次年度の活動に邁進していくよう自分に渇を入れ、国が悪いとか農政が悪いとかではなく、現実には地域の農家とともに知恵を絞って、地域皆で儲かる農業経営のできる磐梯町の農業を実現していくことを誓い活動をしてまいります。

農地利用状況調査（農地パトロール）



農業委員 鈴木 翼〈上西連〉

町内全域を対象に農地パトロールを行いました。一番問題になっているのが、耕作されずに長年放置された耕作放棄地という田畑です。年数が経つほど木や雑草が生い茂り、再び耕作できる状態まで復元するには大変な労力と資金が必要です。そのため後継者不足で田畑の担い手が激減している昨今、優先すべきは現在耕作されている土地を一枚でも多く守っていくことで、これ以上耕作放棄地を増やさないようにする取り組みだと感じました。



農業委員 佐藤 栄喜〈赤枝〉

新年明けましておめでとございます。

農業委員会の主たる使命は、①担い手への農地利用の集積・集約化②遊休農地の発生防止・解消③新規参入の促進などです。

この仕事を着実に進めていく行為には、地区内での「常日頃の話し合い」が欠かせません。世間話を交えながら、地区の問題点やあるべき農業の姿などについて、老若男女分け隔てなく、特に今後を担う若者とざくばらんな話し合いをしていく事が大切です。本年もよろしくお願い申し上げます。



農地利用最適化推進委員 加藤 正己〈赤枝〉

新年明けまして、おめでとございます。

農地利用最適化推進委員として、三年目を迎え、地区内の耕作農地を把握し、遊休耕作放棄地の解消に努めてまいりましたが、農業従事者の家庭内事情による離農が進み、農地の手放しが多く見受けられ、農業従事者の確保を最優先すべきと思われます。今後は、町農業振興に向け、行政・各分野業団体との連携を図り、地域農業の振興に努めて参りますので今後共よろしくお願い致します。

令和五年度磐梯町

農業施策に関する意見書提出

令和四年十二月十五日、農業従事者の高齢化や担い手の減少、遊休農地の増大等深刻化する様々な課題への支援と対策の強化、農業・農村の活性化や持続可能な農業構造への確立を図るための令和五年度予算編成並びに施策の推進に当たり、農業委員会として加藤農業委員会会長、田中会長職務代理者が行政への意見書を佐藤町長に提出しました。



▲右から佐藤町長、加藤会長、田中会長職務代理者

主な内容

- 1、担い手への農地集積について
- 2、遊休農地の解消について
- 3、新規就農者の育成支援について
- 4、農業振興全般について

肥料・飼料高騰緊急対策

新型コロナウイルス感染症拡大による米価の下落に加え、ロシアのウクライナ侵略等による、肥料・飼料・原料等の価格高騰の影響を受けている農業者に対して、福島県・磐梯町として、肥料高騰緊急対策交付金を創出しました。高騰している肥料費の一部を助成し、水稻及び転換作物の再生産を支援いたします。

	水稻	転換作物	飼料
交付単価	10aあたり		1 kgあたり
福島県	500 円	1,500 円	-
磐梯町	5,000 円	5,000 円	10 円

農地の有効利用と農業経営の効率化のため「農地中間管理事業」を活用しましょう！

農地中間管理機構（農地バンク）

「公益財団法人福島県農業振興公社」は、リタイアや規模縮小する農家等から農地を借り受け、認定農業者などの地域の担い手へ、その農地を貸し付ける公的機関です。

※事業の対象農地

Ⅱ都市計画の市街化区域外で、借受希望者の状況等から転賃が見込まれる農地等

共有者一部不明農用地等も

貸付ができるようになりました！

今まで、相続放棄などで所有者不明になってしまった農地については、農地バンクに貸付ができませんでした。が、昨年の八月より、そのような農地でも県知事の認可・公告をすることにより、貸付ができるようになりました。

共有者一部不明農用地等の過半の共有持分を有する者の同意を得ている場合には、一般農用地と同じようにお申し込みができます。

過半の共有持分を有する者の同意を得ていない場合は、町農業委員会の探索・公示を経て、「みなし同意」とすることで貸付ができます。

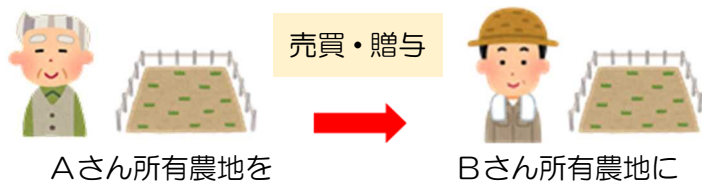
身近にそういった農地があり、借受を希望する場合は、農業委員会にご相談ください。

●農地法第3条の許可申請

売買など所有権の移転・地上権や賃借権等を設定する場合は、あらかじめ、農地の売買契約を締結したときに、農地所在する市町村の農業委員会に許可申請し、許可を得ることが権利者に義務付けられています。

たとえば…

「農業をリタイアするので、他の農家に農地を売りたい」場合

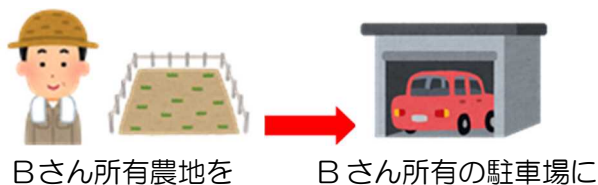


●農地法第4条の許可申請

農地所有者自らが宅地や工業用地など農地以外のものに転用する場合は、都道府県知事または農林水産大臣が指定する市町村の長に許可申請し、許可を得ることが義務付けられています。

たとえば…

「自宅に隣接している所有農地を駐車場にしたい」場合

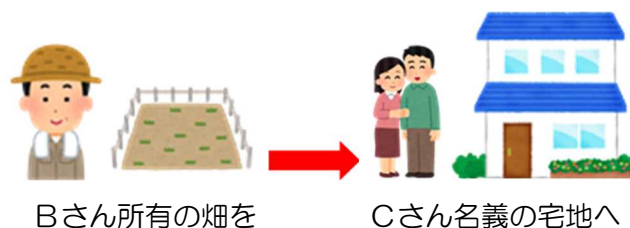


●農地法第5条の許可申請

農地を農地以外のものに転用するために売買など所有権の移転・地上権や賃借権等を設定するときは、あらかじめ都道府県知事または農林水産大臣が指定する市町村の長に許可申請し、許可を得ることが義務付けられています。

たとえば…

「父親所有の農地を息子名義にし、新しく住宅を建てる」場合



※農振地域内の農地は、原則として農地転用ができません。

農地を売買・転用する場合には
農業委員会への届出が必要です！

農地法では、農地の「権利移動」・「転用」・「転用目的の権利移動」の取引について、あらかじめ農業委員会や都道府県知事等の許可を取得することや、届出をするよう規定しています。手続きを怠ると、違反転用として三年以下の懲役、又は三〇〇万円以下（法人は一億円以下）の罰金が科せられることがあります。

農作物の鳥獣被害でお困りの方、磐梯町では「電気柵設置補助」を行っています！

《補助対象者》町民又は農業者をもって組織する町内の団体等

《補助率》電気柵等の購入に要する経費の50%以内で、上限50万円

《申請方法》

①申請書類（申請書、事業計画書、収支予算書、配置図、見積書、資材内訳等）を町農林課へ提出してください。

②申請内容、必要事項等を審査のうえ決定し、申請者に通知いたします。

※予算の範囲内で実施しますので、審査により調整して決定する場合があります。

※予算額に達した場合は終了となりますのでご了承ください。



● 人・農地プランの実質化

人・農地プランとは、農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化するものです。
①②③を行う事により、人・農地プランの実質化となります。

- ① 今後の農業に関するアンケート調査の実施
- ② 結果を基に、地区の現況を地図化
- ③ 調査結果・地図を踏まえて話し合いを行い、中心経営体への農地の集約化に関する将来方針を作成・公表

今後「効率的な農地利用」や「スマート農業を行うための農地の集積・集約化」を進めていくために必要となる各種制度の利用や関連事業の実施には、人・農地プランの実質化されていることが前提条件となっております。

磐梯町の実質化状況 (R4年12月末現在)

実質化済

8 地区 / 12 地区中

全国農業新聞

*発行日 毎週金曜日

*購読料 (税込)

新聞本紙 月 700 円

※新聞本紙、電子版どちらも閲覧可

電子版 月 500 円

※電子版のみ閲覧可

農機具 譲ってください！

「まだ使える農機具」、倉庫で眠っていませんか？
あなたには不要でも、誰かにとっては必要なものかもしれません。

現在農業委員会では、農業リタイアなどで不要になった農機具を、新規就農者などほかの農家の方へ譲っていただける方を募集しています。劣化が激しいものや、壊れて使えないものは、引き取れませんのでご了承ください。

女性農業委員が 活躍しています！

現在、全国では2,861人の女性農業委員が活躍しています。

農作物の生産はもちろん、農作物の加工、直売、農家レストランなど、6次産業化への取り組みも女性を中心となって行う地域が増えていきます。

磐梯町農業委員会では、令和5年7月に農業委員改選が行なわれます。この機会に、あなたも女性目線の農業を生かして、農業委員として活動してみませんか？
任期は3年です。



賃借料について

毎年農業委員会が配布する「賃借料情報」は、前年に町内で契約のあった賃借料の平均をもとに算出しております。(著しく高額・低額な賃借料は除外してあります。)この賃借料はあくまでも参考として提供するものですので、最終的な賃借料は、米価の推移や生産費等を考慮し、貸し手借り手同士の話し合いで決定してください。

令和4年磐梯町農業委員会 審議事項件数(1月～12月)

利用権設定	108 件
現況確認証明 (非農地証明)	7 件
農地法第3条	5 件
農地法第4・5条	8 件
合計	128 件
申請書提出締切日 毎月 5 日	
総会開催日 毎月 20 日前後	

【編集後記】



農地利用最適化推進委員
鈴木 庄次(赤枝)

新年明けまして、おめでとうございます。
昨年を振り返ると、ウクライナ戦争による食料品の値上げ、原油高騰の継続・長期化により、家計への影響が危惧されている。

近年、稲作他集落からの入耕作者が増し、高齢化、担い手の減少の深刻さがうかがえる。しかし同時に、入耕作者のおかげで集落内の未耕作地の減少が図られていることも事実であり、良いことにもつながっている。

他集落においても、遊休農地が確認されているため、今後も地権者と会話を設け、農地中間管理事業の利用や作成した人・農地プランをもとに、五年・十年先の米作りの経営維持が図れればと思う。今年も皆様のご協力よろしくお願い致します。

磐梯町の農業のこれからを担う若手農家3名をご紹介します



- ①栽培作物は何ですか ②農業を始めるきっかけは ③農業の魅力は ④アピールポイントは
⑤就農前・後にあると良い支援は ⑥今後の目標は ⑦町内の農業者の方へ一言！



- ① 酪農（乳牛）
② 父がもともと酪農をやっていたこともあり、自分も経営をしたいと思っていた。
③ まだ探求中。
④ 乳牛一頭あたりからとれる牛乳の乳量が福島県ナンバーワンなこと。
⑤ 乳製品などの加工場を建てる際の支援。
⑥ 乳製品の六次化を進めたい。また、乳量県内ナンバーワンを維持していきたい。
⑦ 酪農は他の農家さんと違う部分があり、孤立してしまいがちなので、もっと関わりを持ちたい。コミュニケーションの場として、牧場にいつでも遊びに来てほしい。



就農4年目
中川 拓哉さん
(六郎原)



就農2年目
金森 大樹さん
(源橋)

- ① ブドウ・唐辛子
② 小さい頃、両親が自宅近くの畑を借りて野菜などを作っていたこともあり、その頃から将来農業をやってみたいと思っていた。
③ 今年初めてブドウが収穫でき、実際に形になったものを見たときはなんともいえない気持ちになった。買っていただいた方から、また買いたいと言ってもらえたことも励みになっている。
④ 作物に与える肥料や水の成分には気を付けている。肥料はすべてジャパンバ イオファームのもので、水は雨水や水道水を使用している。
⑤ 農地取得の補助。販売先のサポート。
⑥ 収穫体験ができるようにして、観光客の受入れができるようにしたい。
⑦ いつでも畑にお遊びにきてください。一緒にお話しましょう。



就農4年目
管 直人さん
(横達)

- ① ネギ、トマト
② もともと食べ物関係の仕事をしてきたこともあり、その中で食材を育てるところからやってみたいと思った。
③ 個人事業主なので、時間やスケジュールの融通がきき、好きな時間に仕事ができること。
④ 見た目よりも味にこだわっている。
⑤ ネギであれば、白みの部分が少なくても青みの部分もおいしく食べられるように努力している。
⑥ 基本1人なので、情報交換できる場があると良い。
⑦ 雇用を増やしたい。そのために規模拡大、売上アップを目指したい。
⑧ 道の駅ばんだい、リオンドールなどで野菜を販売しているので、みかけたら手に取っていただけるとうれしい。